

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名	No. 550704	難病患者等支援事業				主管課名	福祉課				
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	伊藤 欽治				
		施策	みんなで助け合える福祉のまち									
		基本事業	障がい者の自立生活を支える環境整備									
(1)事業の概要												
難病患者等（人工透析者を含む）に対し、見舞金・交通費の支給、居宅生活支援事業の支給決定をすることにより、難病患者や家族に対しての福祉及び生活の向上に資する。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
					名 称		単 位					
					見舞金支給件数		件					
					交通費支給件数		件					
					難病患者居宅生活支援事業利用件数		件					
					その指標							
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)												
難病患者等見舞金等の申請を受け、支給決定する。見舞金を4月に年額20,000円支給し、交通費を10月と3月に月額2,000円以内において支給する。根拠法令に基づき、難病患者からの申請受付、審査、居宅生活支援の決定を行う。なお、所得に応じて上限額があり、自己負担もある。事務事業の見直しを行い、19年度より難病患者居宅生活支援事業を加えた事務事業とすることになる。												
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
難病患者					名 称		単 位					
					難病患者数		人					
					その指標							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
難病患者の経済的負担の軽減を図る。					名 称		単 位					
					難病患者の経済的負担の支援人数		人					
					その指標							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
住み慣れた地域で安心して生活してもらう。					名 称		単 位					
					自立支援給付の受給率		%					
					扶助費の受給率		%					
					制度を利用した人数		人					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		件	290	308	320	335	350	365				
		件	245	235	240	245	250	255				
		件	0	0	1	1	1	1				
(6)の対象指標		人	306	303	315	330	345	360				
(7)の成果指標		人	306	303	315	330	345	360				
(8)の結果の成果指標		%	11	10	10	10	10	10				
		%	61.5	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7				
		人	197	172	177	180	183	186				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	02
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	8,809	9,186	10,448	10,448	10,448	10,448				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	218	218	218	218				
	県支出金	千円	31	0	84	84	84	84				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	37	37	37	37				
	一般財源	千円	8,778	9,186	10,109	10,109	10,109	10,109				
人件費B		千円	1,107	2,179	2,179	2,179	2,179	2,179				
正職員従事時間×人数		時間×人	300×1	250×2	250×2	250×2	250×2	250×2				
正職員以外の人件費		千円		300	300	300	300	300				
その他費用C		千円		543	500	500	500	500				
トータルコストA+B+C		千円	9,916	11,908	13,127	13,127	13,127	13,127				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	32	39	42	40	38	36				
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	550704 難病患者等支援事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和60年4月1日 から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
難病患者の経済負担の軽減を図るため			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない		変化している	変化した内容

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市難病患者見舞金及び交通費支給条例 他 難病患者等の経済的負担を軽減し、福祉及び生活の向上を図るため	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	見舞金の増額だけでは、生活自立できた難病患者数を上げることができないので課題解消から検討する。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名の再編の可能性	在宅心身障がい扶助費等給付事業 ある ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	難病患者等の経済的負担の軽減を図るものであり、今後も継続していく。 改善案は申請・現況届け提出の際に必要な病院の通院証明書に文書料がかかるため、交通費支給を廃止し見舞金の増額をもって統合を行うことを目指した制度改定の検討を行う。					